

建築事業



事業概要

建築事業では、免震をはじめとする防災関連技術や環境負荷を低減する省エネルギー技術などの採用を推進するほか、既存建物の有効活用にも積極的に取り組み、地球環境にやさしく、安全で快適な空間を提供していきます。

これからも、倉庫・流通施設、工場・発電所、医療・福祉施設、住宅、教育・研究・文化施設、事務所・庁舎、宿泊施設、店舗、娯楽施設などのさまざまな建物に求められるニーズを的確に把握した上で、建物の企画から設計、施工、アフターケアまでの全ステージにおいてのサービスを提供し、安心で豊かな社会の構築を目指します。

2020年度の主な完成工事(建築)



事務所・庁舎:旭市役所(千葉県旭市)



工場:積水成型工業株式会社 関東工場新生産棟(群馬県板倉町)



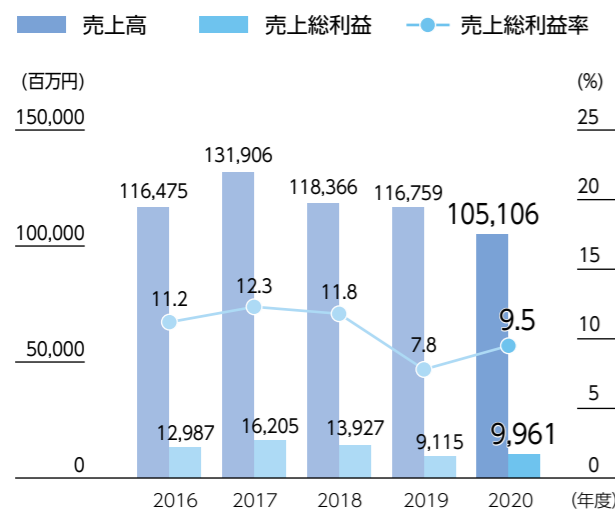
住宅:アルバックタワー刈谷ステーション【免震】(愛知県刈谷市)



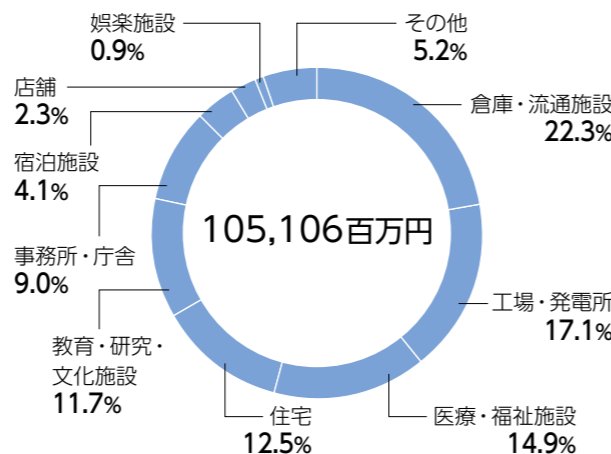
医療・福祉施設:浜名湖エデンの園(静岡県浜松市)

建築事業の業績(個別)

売上高・売上総利益(率)



売上工種別内訳(2020年度)



建築本部長 土屋 完

建築本部長メッセージ

2020年度の建築事業の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響により契約していた工事が中止になったことや、予定していた工事の着工が順延になったことで、売上高は前年度を大きく下回りました。売上総利益率は前年度より改善しましたが、売上総利益は受注低迷の影響や売上高が低迷したことで前年度より若干の改善に留まり、「中期経営計画(2019年~2021年)」の中間年度として、厳しい結果となりました。

2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響で受注競争が厳しさを増していますが、収束後を見据えて組織の強化を図り、業務プロセスの改善やICT・BIMの活用による生産性向上を進め、繰越工事の売上総利益の向上に努めるとともに、今後の受注に向けて全力で取り組み、業績の向上に努めます。

社会のニーズを的確に把握し、お客さまにご満足いただける建物を提供するとともに、技術開発の推進やESGおよびSDGsに貢献する活動を積極的に進めます。

建築事業の主な取り組み

建築事業では、「中期経営計画(2019~2021年度)」に基づき、以下の取り組みを強化していきます。

企業価値の向上	人的資源の活用
<ul style="list-style-type: none"> 多様な実績のさらなる蓄積 技術提案力のさらなる向上や多様な入札契約方式への対応 改修工事に関わる体制の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 工事に支援システムによる業務の効率化 業務内容の見直しとICTやBIMの活用による生産性向上
<ul style="list-style-type: none"> 利益向上への継続的な取り組み 技術開発の強化および実工事への適用推進 設計施工一貫工事の推進 SDGsの目標達成に向けた施策の実行 	<ul style="list-style-type: none"> テレワークの導入による事業継続性の確保

TOPIC

資産を有効活用する既存建物改修技術

建築部門では建物のロングライフ化を目的として、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」のもと、既存建物のリノベーションにも積極的に取り組んでいます。その一例として、築年数50年を超える青森県庁舎を今後も使い続けられるよう、耐震・長寿命化する改修工事を2018年に行いました。そしてこの度、同庁舎が(一財)日本建築防災協会の耐震改修優秀建築賞を受賞しました。

構造面では6階以上の躯体を撤去する減築に加えて増し壁や鉄骨フレームによる補強で耐震性能を確保しつつ、各種機能も新築の水準にアップデートしています。意匠面においては、ファサード(建物正面部)に県産のヒバ材を改修前の仕上げ木材と組み合わせて使用し、地域性やSDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」にも合致しています。

工事名:青森県庁舎(南棟・東棟・議会棟)耐震・長寿命化改修工事
 施工場所:青森県青森市

